

はじめに

昨今の米中貿易摩擦を受けて荷主企業はサプライチェーンの再構築を図っており、チャイナ・プラスワンが加速する中、とりわけベトナムへのシフトが活発化しています。

JIFFA 会員の国際複合輸送取扱実績では、2016 年以來、ベトナム発着のトン数および TEU がタイを上回り、ASEAN の中でトップとなっています。また、2014 年から 2021 年の間に JIFFA 会員が全世界で最も多く新たな海外拠点を構えたのもベトナムです（2022 年 3 月 JIFFA 刊「我が国フォワーダーの海外進出状況」）。さらに、国際協力銀行が 2023 年に公表した「わが国製造業企業の海外事業展開の動向」に関するアンケート調査の「今後 3 年程度の有望な事業展開先国」においても、ベトナムがインドに次いで世界第 2 位となっています。

こうした状況下、ベトナムにおける最新物流事情の提供を求める声が多く上がり、JIFFA フォワーディング委員会では国際交流委員会と共同で現地調査を実施しました。

人口 1 億人を擁するベトナムは、経済成長に伴い、輸出拠点としてのみならず、消費市場としても注目が高まっています。また、地理的にも中国や東南アジア諸国と国境を接し、物流の上で重要な位置を占めています。ベトナムにおけるフォワーダーの役割は、海空の輸送のみならず、陸送、鉄道、クロスボーダー、通関、保税倉庫、コールドチェーンといったあらゆる分野で、いっそう重要度を増していると言っても過言ではありません。

調査を行ったのは、日本とベトナムが外交関係を樹立して 50 年の節目の年でもありました。日本の ODA で造成された深水港の入り口に設置された「日越友好記念の碑」が表象する通り、今後ますます両国の貿易や物流を取り巻く環境が発展していくことが期待されます。

この度の現地調査に際して多大なるご協力をいただいた皆様に深謝申し上げるとともに、本報告書が JIFFA 会員並びに関係各位の事業の一助になれば幸いです。

2024 年 3 月吉日

協力企業・団体

政府関連機関

- Ministry of Industry and Trade
- Ministry of Transport

民間企業・組織団体（順不同）

- Aviation Logistics Corporation
- CJ Gemadep Logistics
- CLK Cold Storage Co., Ltd
- First Logistics Development (JV) Company (VICT)
- Hai Phong Port Services Joint Stock Company
- Hai Phong International Container Terminal Co., Ltd
- KAMEREO Co., Ltd
- Murata Electronics (Vietnam) Co., Ltd
- Ocean Network Express (Vietnam) Co., Ltd (Hanoi Office 及び Ho Chi Minh Office)
- Panasonic Vietnam Co.,Ltd
- Port of Hai phong Joint Stock Company
- Saigon Newport Corporation
- Sao Do Group Investment Joint Stock Company
- Southern Waterborne Transport Corporation (SOWATCO)
- Vietnam Logistics Business Association
- Yusen Logistics (Vietnam) Co., Ltd

一般社団法人 国際フレイトフォワードーズ協会
フォワーディング委員会
国際交流委員会

目次

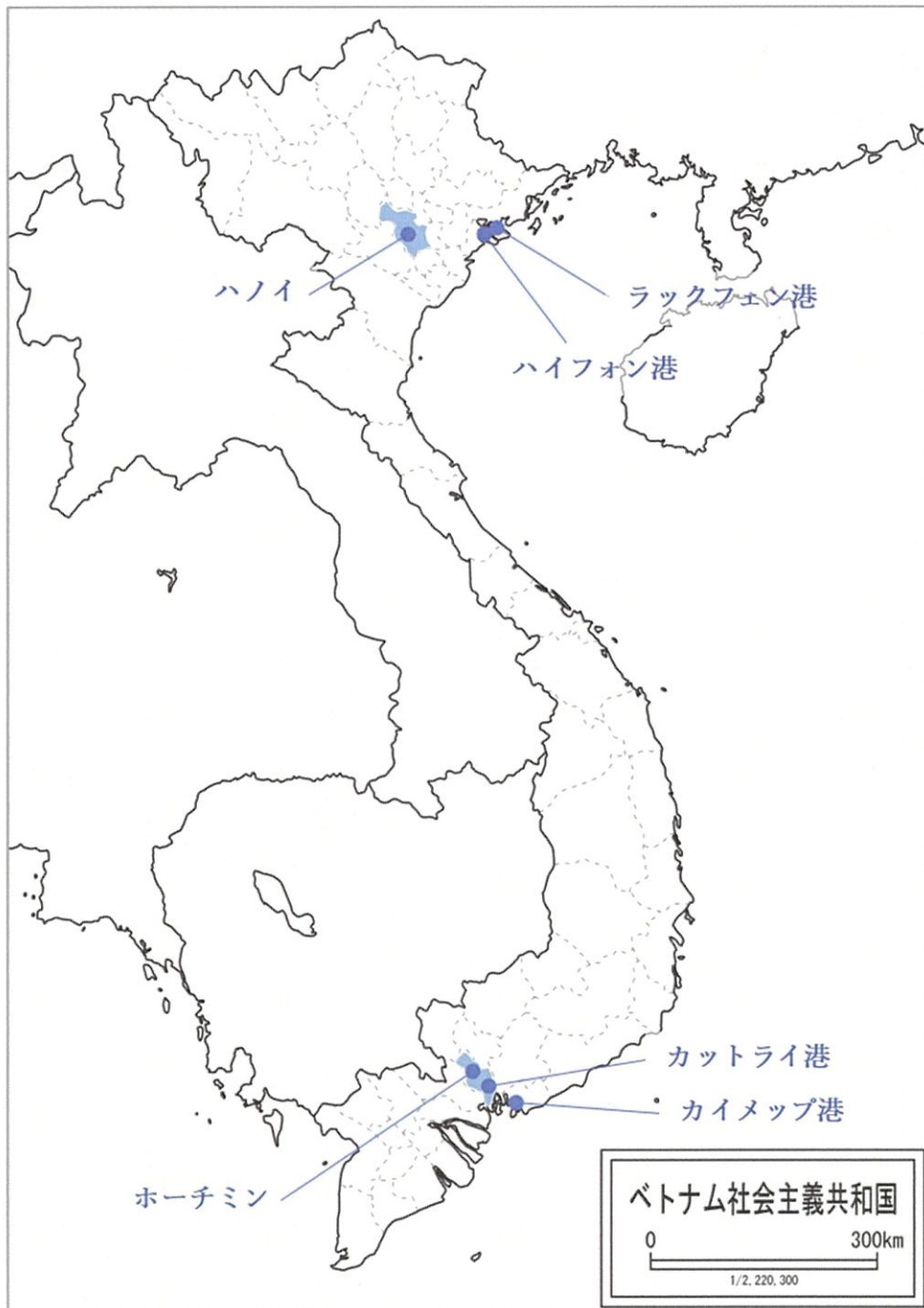
第I章 ベトナムの概況	1
1. ベトナム基本情報	1
(1) 経済概要	1
(2) 為替・金融等の動向	6
(3) 人口・労働事情	8
2. 貿易概況	15
(1) 輸出入状況	15
(2) 品目	16
(3) 相手国	18
(4) 対日貿易の状況	19
(5) 貿易協定の締結状況	20
3. 投資概況	22
(1) 外資規制	22
(2) 外国投資の状況	27
(3) 日系企業の進出状況	31
第II章 ベトナムにおける物流概要	36
1. 物流業界概要	36
(1) 物流市場の状況	36
(2) ベトナムにおける貨物輸送の概況	36
(3) 輸送リードタイム	38
(4) コールドチェーン概況	39
(5) 政府、関連団体	41
(6) 物流関連政策	42
2. クロスボーダー	47
(1) クロスボーダールート	47
(2) クロスボーダー貿易活性化の取り組み	49
(3) 経済回廊	50
(4) 国境ゲート	51

3.	港湾事情	58
	(1) 概要	58
	(2) 管理主体	59
	(3) 取扱量	63
	(4) 世界での位置づけと主な港湾	63
4.	空港	81
	(1) 概要	81
	(2) 管理主体	85
	(3) 航空関係規制	85
	(4) 取扱量	86
5.	陸上輸送（道路）	86
	(1) 概要	86
	(2) 管理主体	90
	(3) 道路規制	90
	(4) 取扱量	93
6.	陸上輸送（鉄道）	93
	(1) 概要	93
	(2) 管理主体	95
	(3) 鉄道規制	96
	(4) 取扱量	96
7.	内陸水路輸送	97
	(1) 概要	97
	(2) 管理主体	98
	(3) 内陸水路規制	99
8.	Inland Container Depot	100
	(1) 概要	100
	(2) 管理主体	100
	(3) 主な ICD	100
第 III 章 通関・フォワーダー事情		104

1. 輸出入手続き	104
(1) ネガティブリスト	104
(2) 輸出入手続き	105
(3) 関税及び貿易諸税	107
2. 物流企業	113
(1) 基本情報	113
(2) 日系物流業者	113
(3) 現地企業	115
第IV章 主要都市の物流概要	119
1. Ho Chi Minh (ホーチミン)	119
(1) 基本情報	119
(2) インフラ	120
(3) 物流	120
2. Hanoi (ハノイ)	123
(1) 基本情報	123
(2) インフラ	124
(3) 物流	124
3. Da Nang (ダナン)	126
(1) 基本情報	126
(2) インフラ	126
(3) 物流	127

調査マップ

今回の調査は、ベトナムの首都 Hanoi（ハノイ）及び北部の物流の中心である Hai Phong（ハイフォン）、ならびに南部の中心都市 Ho Chi Minh（ホーチミン）を中心に行った。北部の中心海港である Hai Phong（ハイフォン）港、Lach Huyen（ラックフェン）港を視察し、南部では、ベトナムで最大の貨物取扱量を誇る Cat Lai（カッタライ）港及び Cai Mep（カイメップ）港の視察を行った。



出所) 白地図より NRI 作成

調査スケジュール（現地調査）

調査期間	2023年11月13日（月）～11月17日（金）
訪問・視察先	<p><北部></p> <p><u>Hanoi（ハノイ）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Ministry of Industry and Trade • Ministry of Transport • Aviation Logistics Corporation • Yusen Logistics (Vietnam) Co., Ltd • Murata Electronics (Vietnam) Co., Ltd • Ocean Network Express (Vietnam) Co., Ltd <p><u>Hai Phong（ハイフォン）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Port of Hai Phong - Tan Vu Terminal • Hai Phong International Container Terminal • Tan Cang Hai Phong ICD • Sao Do Group Investment Joint Stock Company <p><u>Ho Chi Minh（ホーチミン）及び周辺の省</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Tan Cang Cat Lai • Saigon Newport Corporation • Southern Waterborne Transport Corporation（SOWATCO） • Nhon Trach ICD • CLK Cold Storage Co., Ltd • CJ Gemadept Logistics • KAMEREO Co., Ltd
訪問ルート	日本→（空路）→Hanoi→（陸路）→Hai Phong→（陸路）→Hanoi→（空路）→Ho Chi Minh→（空路）→日本

オンラインインタビュー

- VIETNAM LOGISTICS BUSINESS ASSOCIATION
（実施日：2023年10月27日）
- Ocean Network Express (Vietnam) Co., Ltd (Ho Chi Minh Office)
（実施日：2023年11月30日）
- Panasonic Vietnam Co.,Ltd
（実施日：2023年12月8日）

第I章 ベトナムの概況

1. ベトナム基本情報

(1) 経済概要

A. 一般情報

ベトナムは、インドシナ半島の東半分を占め、北部は中国、北西はラオス、南西はカンボジアにそれぞれ接する。国土の約80%は山岳地帯で、インドシナ半島東部をラオスからベトナムにかけて全長約1,100kmの Truong Son (チュオンソン) 山脈が連なる。北部にある Phan Xi Pang (ファンシーパン) 山は、標高3,142mと東南アジア最高峰である。南部は平坦地が多く、Me Kong (メコン) 川によってもたらされた肥沃なデルタ地域、北部には Song Hong (紅河) によるデルタ地域が広がり、穀倉地帯となっている。

ベトナムの国土は南北方向に約1,650kmと長いことから、地域によって大きく気候が異なる。ケッペンの気候区分では、北部は温帯夏雨気候、中部は熱帯モンスーン気候、南部はサバナ気候に属する。北部は四季が存在し、夏季は35度を超える猛暑が続き雨が降る反面、冬は10度近くまで気温が下がり、寒波の影響を受けて氷点下になることもある。中部は年間を通じて暑く、雨季(6月～10月)と乾季(11月～3月)で大きく気候が異なる。中部地域は、雨季にフィリピン沖で発生した台風が西に進み上陸することが頻繁にあり、排水機能が未整備であることも起因して洪水が発生することも多い。南部も中部と同様に雨季(5月～11月)と乾季(12月～3月)があるが、一年を通して高温多湿であり、中部とは異なり雨季であっても短時間降るのみで、一日中雨が降ることは多くない。

図表 I-1 ベトナムの基本情報 (2022年)

正式名称	Cộng Hoà Xã Hội Chủ Nghĩa Việt Nam	
名称 (日本語)	ベトナム社会主義共和国	
一般事情	首都	Hanoi (Hà Nội)
	面積	33万 1,346 km ²
	人口	Hanoi (ハノイ) 10,030万人 (2023年)
	平均寿命	73.7歳
	言語	ベトナム語、ほか少数民族語
	宗教	仏教、そのほかにカトリック、カオダイ教、ホアハオ教など
政治	政治体制	社会主義共和国
	議会制度	一院制一党、任期5年

出所) JETRO ホームページ、外務省ホームページ、World Bank ホームページ、ベトナム統計総局